



Cisco Catalyst Blade Switch 3030 はじめに

本書では、Cisco Catalyst Blade Switch 3030（以下、「スイッチモジュール」とします）を Dell Modular Server Chassis に取り付ける方法、およびスイッチモジュールの設定を行う手順について説明します。Dell Modular Server Chassis（以下、「サーバーシャーシ」とします）は、最大 10 台のサーバーモジュールと最大 4 台のイーサネットスイッチモジュールをサポートするシステムです。スイッチモジュールは、サーバーシャーシ背面パネルのシャーシ I/O モジュールベイの 1 つに取り付けます。

本書では、スイッチ管理のオプション、およびスイッチモジュールのトラブルシューティングヘルプについても説明しています。

モジュールベイの数、種類、および位置の詳細について、およびモジュラーサーバーシステム全体の追加情報については、www.support.dell.com で『Dell PowerEdge 1855 システムユーザーズガイド』および Dell PowerEdge 1855 システムの『インストール & トラブルシューティング』を参照してください。

スイッチモジュールの追加情報と設定情報については、Cisco.com で Cisco Catalyst Blade Switch 3030 のマニュアルを参照してください。スイッチモジュールのシステム要件、重要なお知らせ、制限事項、未解決および解決済みの注意事項、およびマニュアルの最新アップデートについては、同じく Cisco.com でリリースノートを参照してください。

オンラインで提供されている文書を使用する際には、スイッチで実行されている Cisco IOS ソフトウェアのバージョンと一致するマニュアルを参照してください。Cisco.com のサイトや「[マニュアルの入手方法](#)」(9-26 ページ) にリストアップされている電話番号から、マニュアルの印刷版を注文することも可能です。

本書に使われている警告の翻訳については、本書に付属の『Regulatory Compliance and Safety Information for the Cisco Catalyst Blade Switch 3030』（Cisco Catalyst Blade Switch 3030 の法規制の順守と安全に関する注意）を参照してください。



メモ

以下の手順を実行する前に、サーバーシャーシのリリースノートをお読みください。リリースノートは、デルサポートサイト www.support.dell.com で入手できます。

目次

- [開梱、9-3 ページ](#)
- [Dell Modular Server Chassis のアーキテクチャ、9-5 ページ](#)
- [サーバーシャーシへのスイッチモジュールの取り付け、9-6 ページ](#)
- [スイッチモジュールの設定、9-9 ページ](#)
- [スイッチの管理、9-17 ページ](#)
- [インストール時の警告メッセージ、9-19 ページ](#)
- [問題が発生した場合、9-23 ページ](#)
- [マニュアルの入手方法、9-26 ページ](#)
- [マニュアルのフィードバック、9-28 ページ](#)
- [Cisco 製品のセキュリティに関する概要、9-28 ページ](#)
- [テクニカルサポートの利用法、9-30 ページ](#)
- [その他の刊行物や情報を入手する方法、9-32 ページ](#)
- [ハードウェアの保証期間、9-34 ページ](#)

開梱

スイッチモジュールには、以下のものが同梱されています。

- コンソールケーブル
- 『Cisco Catalyst Blade Switch 3030 — はじめに』（本書）
- 『Regulatory Compliance and Safety Information for the Cisco Catalyst Blade Switch 3030』（Cisco Catalyst Blade Switch 3030 の法規制の順守と安全に関する注意）
- 登録カード

次の手順で作業を行います。

1. 梱包箱を開けて、スイッチモジュールとアクセサリキットを取り出します。
2. 梱包材を梱包箱に戻し、保管しておきます。



メモ

サーバーシャーシと一緒にスイッチモジュールを注文された場合、スイッチモジュールは取り付け済みですので、開梱の作業は不要です。開梱の手順は、スイッチモジュールを別途注文された場合にのみ該当します。

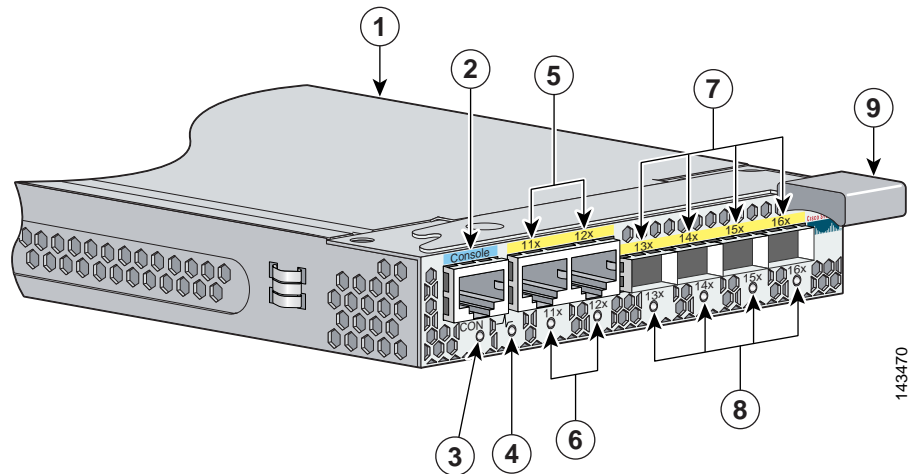
Cisco ギガビットイーサネットスイッチモジュール

図 1 にスイッチモジュールを示します。スイッチモジュールには以下の機能があります。

- 内蔵ギガビットイーサネット 1000BASE-X ポート× 10
- コンソールポート× 1
- 10/100/1000BASE-T 銅線ギガビットイーサネット外部ポート× 2
- 1000BASE-SX ファイバーおよび 10/100/1000BASE-T 銅線をサポートする外部 SFP (small form-factor pluggable) モジュールアップリンクポート× 4 (Cisco SFP モジュールのみサポート)

各ポートにはそれぞれ LED が割り当てられています。また、DRAC/MC (Dell Remote Access Controller/Modular Chassis) 管理ボードによって制御されるシステムステータス /ID LED があります。

図 1 Cisco ギガビットイーサネットスイッチモジュール



143470

1	スイッチモジュール	6	ギガビットイーサネットポートの LED
2	コンソールポート	7	SFP モジュールポート
3	コンソールポートの LED	8	SFP モジュールポートの LED
4	システムステータス /ID LED	9	リリースラッチ
5	ギガビットイーサネットポート		

スイッチモジュールのセットアップには、次のものがが必要です。

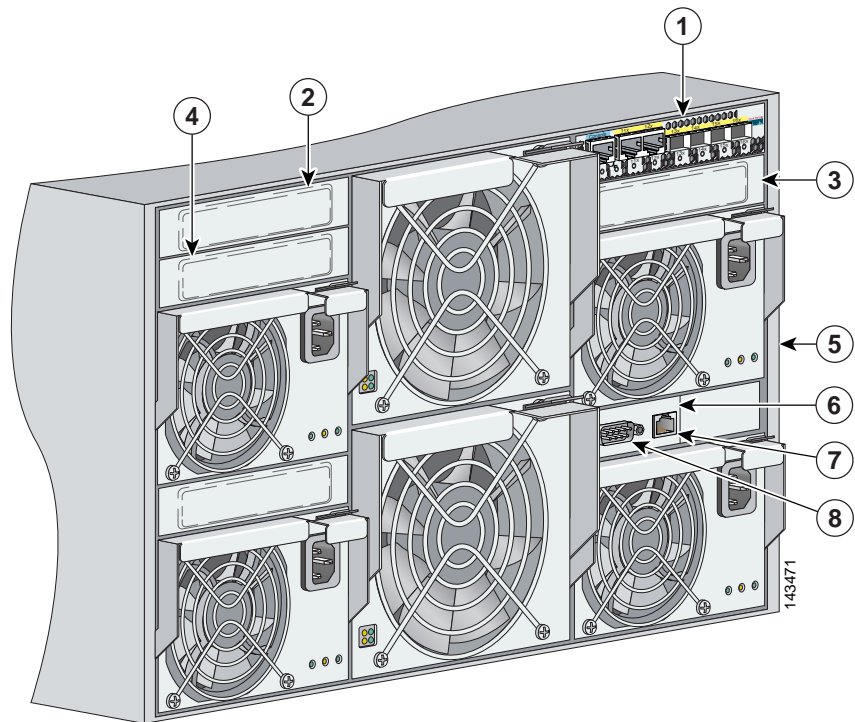
- PC
- イーサネット（カテゴリ 5）ストレートケーブル（図を参照）またはコンソールケーブル



Dell Modular Server Chassis のアーキテクチャ

4つのシャーシ I/O モジュールベイは、背面パネルにあります（[図 2](#) を参照）。スイッチモジュールは、シャーシ I/O モジュールベイ 1 および 2 に挿入します。ベイ 3 と 4 は、サーバーモジュールにギガビットイーサネットのドーターカードが取り付けられている場合のみ、スイッチモジュール用に使用します。

図 2 Dell Modular Server Chassis



1	ベイ 1 (スイッチモジュールが装着済み)	5	サーバーシャーシの背面パネル
2	ベイ 2	6	DRAC/MC 管理ボード
3	ベイ 3	7	イーサネットポート
4	ベイ 4	8	RS-232 ポート

スイッチモジュールを取り付ける前に、次の前提条件を考慮してください。

- ベイ 1 とベイ 2 はペアです。ベイ 2 の前にベイ 1 にモジュールを取り付ける必要があります。ベイ 2 を使用する場合、ベイ 2 の I/O モジュールはベイ 1 の I/O モジュールと同じタイプにする必要があります。
- ベイ 3 とベイ 4 はペアです。ベイ 4 の前にベイ 3 にモジュールを取り付ける必要があります。ベイ 4 を使用する場合、ベイ 4 の I/O モジュールはベイ 3 の I/O モジュールと同じタイプにする必要があります。

情報パネルのコンポーネントについては、『Dell PowerEdge 1855 システム ユーザーズガイド』および Dell PowerEdge 1855 システムの『インストール & トラブルシューティング』を参照してください。

サーバシャーシへのスイッチモジュールの取り付け

スイッチモジュールをサーバシャーシに取り付ける前に、次の点を考慮してください。

- 『製品情報ガイド』に記されている安全と取り扱いに関するガイドラインを読み、よく理解しておきます。
- 本書に付属の『Regulatory Compliance and Safety Information for the Cisco Catalyst Blade Switch 3030』（Cisco Catalyst Blade Switch 3030 の法規制の順守と安全に関する注意）をよく読んでおきます。
- 正常な冷却を行い、システムの信頼性を確保するために、次の点を考慮してください。
 - 各シャーシ I/O モジュールベイには、モジュールまたはエンドキャップ（ブランクプラグ）を取り付ける必要があります。
 - ホットスワップモジュールを取り外した場合は、取り外し後 1 分以内に同一のモジュールまたはエンドキャップ（ブランクプラグ）を代わりに取り付ける必要があります。



注意

スイッチモジュール取り付け時に静電気（ESD）による損傷を防止するために、基板や部品の通常の取り扱い手順に従ってください。



メモ

スイッチモジュールの取り付け時には、サーバーモジュールやスイッチの電源を切る必要はありません。



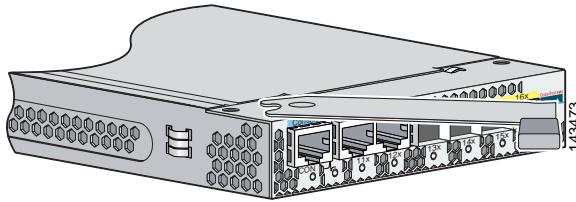
メモ

初期設定では、スイッチモジュールは未設定で、工場出荷時の状態のままであり、デフォルトのユーザー名とパスワードを使用して設定されていないことが前提とされています。

以下の手順に従って、スイッチモジュールをサーバーシャーシに取り付けます。

- 手順 1 スイッチモジュールの取り付けを開始する前に、ネットワーク管理者から以下の情報入手し、書き留めておきます。
 - スイッチの IP アドレス
 - サブネットマスク (IP ネットマスク)
 - デフォルトゲートウェイ (ルーター)
 - 有効化のシークレットパスワード (暗号化される)
 - 有効化のパスワード (暗号化されない)
 - telnet パスワード
 - SNMP コミュニティストリング (オプション)
- 手順 2 スイッチモジュールを取り付けるシャーシ I/O モジュールベイを選択します。[「Dell Modular Server Chassis のアーキテクチャ」\(9-5 ページ\)](#) にリストアップされている前提条件に従います。
- 手順 3 選択したベイからエンドキャップ (ブランクプラグ) を取り外します。エンドキャップ (ブランクプラグ) は保管しておきます。
- 手順 4 スイッチモジュールが入っている静電気防止パッケージをサーバーシャーシの金属部分に接触させていない場合は、2 秒以上接触させます。
- 手順 5 スイッチモジュールを静電気防止パッケージから取り出します。
- 手順 6 スイッチモジュールのリリースラッチが開いた位置 (モジュールに対して垂直) になっていることを確認します。

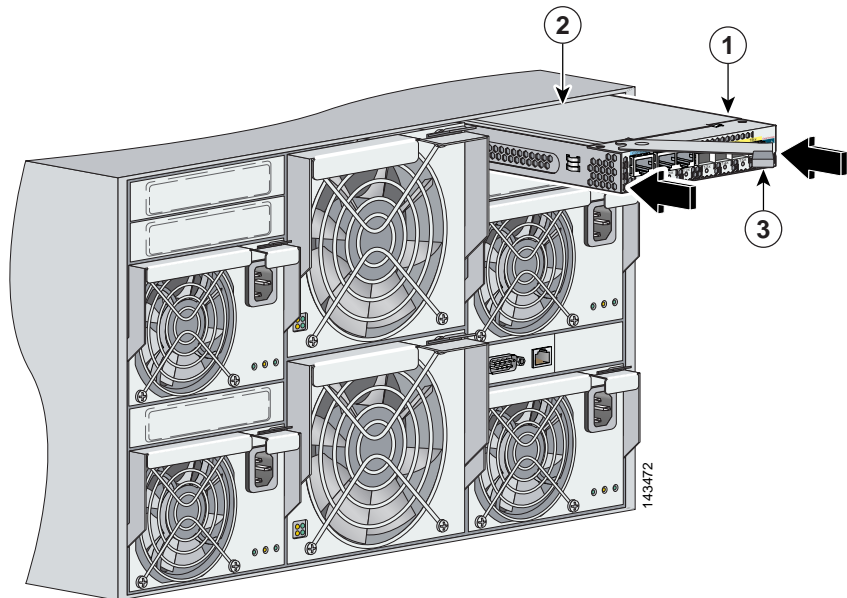
■ サーバシャーシへのスイッチモジュールの取り付け



- 手順 7 スイッチモジュールを正しいベイにしっかり挿入します。
- 手順 8 スイッチモジュール正面のリリースラッチを押して閉じ位置にします。

スイッチモジュールをサーバシャーシに挿入しているところを [図 3](#) に示します。

図 3 サーバシャーシへのスイッチモジュールの挿入



1	スイッチモジュール	3	リリースラッチ
2	サーバシャーシ		

スイッチモジュールの設定



メモ

システム設定ダイアログを実行するには、まずスイッチを PC に接続し、ターミナルエミュレーションプログラムを実行する必要があります。PC をスイッチに接続する方法には 2 種類あります。スイッチコンソールポートを使うか、または DRAC/MC コンソールポートを使う方法です。これら 2 種類の手順については、本項で説明します。

DRAC/MC を使用してスイッチに接続した場合、スイッチコンソールポートは無効になります。設定を終えたら、切断コマンドを使ってアクティブなコンソールポートを閉じ、スイッチコンソールポートを再度有効にする必要があります。**logout** と入力してスイッチからログアウトし、次に ~. と入力して DRAC/MC をスイッチから切断します。

次のいずれかの手順を実行します。

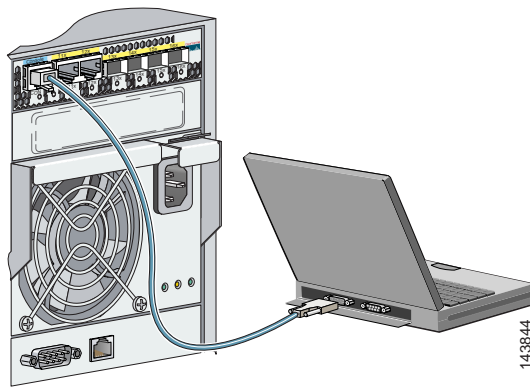
- スイッチモジュールのコンソールポートを使用してターミナルエミュレーションプログラムを実行するには、「[スイッチモジュールのコンソールポートを使用した接続](#)」(9-10 ページ)に進みます。
- DRAC/MC ポートを使用してターミナルエミュレーションプログラムを実行するには、「[DRAC/MC を使用した接続](#)」(9-11 ページ)に進みます。

スイッチモジュールのコンソールポートを使用した接続

スイッチモジュールのコンソールポートを使用して接続する場合は、次の手順に従います。

- 手順 1 コンソールケーブルの一端をスイッチモジュールのコンソールポートに接続します。ケーブルのもう一方の端を、ターミナルエミュレーションアプリケーションを実行しているコンピュータのシリアルポートに接続します (図 4 を参照)。

図 4 スイッチモジュールのコンソールポートを使用した接続



- 手順 2 POST で出力表示が確認できるように、ターミナルエミュレーションセッションを開始します。ターミナルエミュレーションソフトウェア (Hyperterminal または ProcommPlus などの PC アプリケーション) により、スイッチと PC またはターミナルの間の通信が可能になります。

PC またはターミナルのボーレートとキャラクタフォーマットを、以下に示すコンソールポートのデフォルト特性に合わせます。

- 9600 ボー
- 8 データビット
- 1 ストップビット
- パリティなし
- なし (フロー制御)

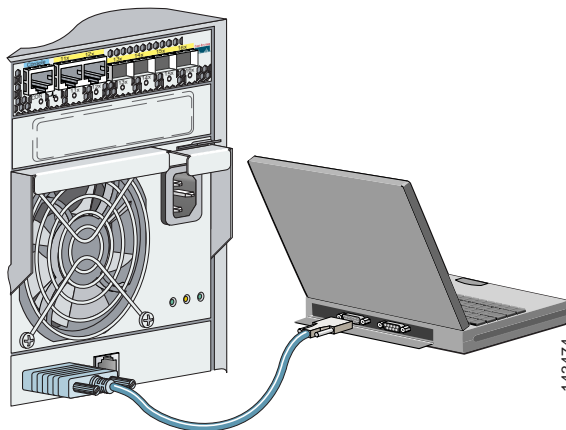
- 手順 3 「POST の完了まで待機」(9-13 ページ) に進んでスイッチモジュールの設定を完了します。

DRAC/MC を使用した接続

DRAC/MC を使用して接続する場合は、次の手順に従います。

- 手順 1 DB9 マルモデムケーブルまたはクロスオーバーケーブルの一端を DRAC/MC の RS-232 コンソールシリアルポートに接続します。ケーブルのもう一方の端をコンピュータの RS-232 コンソールシリアルポートに接続します (図 5 を参照)。

図 5 DRAC/MC を使用した接続



- 手順 2 PC ターミナルエミュレーションプログラムで、以下の手順を実行します。
- データ形式を、データビット 8、ストップビット 1、パリティなしに設定します。
 - ターミナルエミュレーション速度を 115200 ボーに設定します。
 - Flow Control** (フロー制御) をなしに設定します。
 - Properties** (プロパティ) で、Emulation モードに **VT100** を選択します。

■ スイッチモジュールの設定

- e. Function, Arrow, and Ctrl keys (ファンクション、矢印、および Ctrl キー) に Terminal keys (ターミナルキー) を設定します。設定が Windows keys (Windows キー) ではなく Terminal keys (ターミナルキー) であることを確認します。

Microsoft Windows 2000 で HyperTerminal を使用する場合は、必ず Windows 2000 Service Pack 2 以降をインストールしていることを確認してください。Windows 2000 Service Pack 2 を使用すると、HyperTerminal の VT100 エミュレーションで矢印キーが正しく機能します。Windows 2000 のサービスパックの詳細については、www.microsoft.com を参照してください。

- 手順 3 DRAC/MC アプリケーションにより、コンソールモニターにログイン画面が表示されます。次のデフォルト値を使用してログインします。

ユーザー名 **root**
パスワード **calvin**

DRAC/MC コマンドラインインタフェース (CLI) のコマンドプロンプト **DRAC/MC:** が表示されます。

- 手順 4 サーバーシャーシの電源がオフの場合は、次のコマンドを使用して電源をオンにします。

```
racadm chassisaction -m chassis powerup
```

サーバーシャーシの電源がオンになると、シャーシの I/O ベイに挿入されているスイッチモジュールの電源が自動的にオンになります。CLI を使用したサーバーシャーシの設定の詳細については、『Dell Remote Access Controller/Modular Chassis ユーザーズガイド』を参照してください。

- 手順 5 次のコマンドを使用してスイッチモジュールの電源サイクルを実行します。

```
racadm chassisaction -m switch-N powercycle
```

N は、スイッチモジュールが挿入されているシャーシ I/O モジュールベイの番号です。

- 手順 6 DRAC/MC コンソールをスイッチモジュールの内部シリアルコンソールインタフェースにリダイレクトします。DRAC/MC のコマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。

```
connect switch-N
```

N は、スイッチモジュールが挿入されているシャーシ I/O モジュールベイの番号です。

コマンドプロンプトに戻るには、次のキーシーケンスを押します。

Enter ~.

最初に **Enter** を押し、チルダ ~ を押し（チルダ記号がキーボードの上段にある場合は、必ず先に <Shift> キーを押します）、次にピリオド .（ドット）を押します。

- 手順 7 「**POST の完了まで待機**」(9-13 ページ) に進んでスイッチモジュールの設定を完了します。
-

POST の完了まで待機

次の手順を実行します。

- 手順 1 スイッチが POST を完了するまで待ちます。スイッチが POST を完了するのに数分かかることがあります。
- 手順 2 システムステータス /ID LED がオフで、コンソール LED が緑色または黄色に点灯していることを確かめることで、POST の完了を確認します。設定の間違いやエラーが原因でスイッチが POST に失敗した場合、システムステータス /ID LED は緑色に点滅し、コンソール LED はオフになります。
- 障害モードの詳細を調べるには、DRAC/MC コンソールにログインします。
- 通常、POST エラーは致命的です。スイッチが POST に失敗した場合は、Cisco カスタマーサポートまですぐにお電話ください。
- システムステータス /ID LED とコンソール LED の位置については、[図 1 \(9-4 ページ\)](#) で項目 4 を参照してください。
- 手順 3 スイッチがフラッシュの初期化を完了するまで待ちます。 *Press Return to Get Started!*（開始するには Return を押してください）というプロンプトが表示されたら、**Return** または **Enter** を押します。
- 手順 4 スイッチモジュールのシステムステータス /ID LED がオフで、コンソール LED が緑色または黄色に点灯していることを確認します。これは、スイッチモジュールが正常に動作していることを示します。
- 手順 5 スイッチモジュールのセットアップと初期設定の手順については、「**初期設定の完了**」(9-14 ページ) を参照してください。
-

初期設定の完了

セットアッププログラムを完了し、スイッチの初期設定を行うには、以下の手順を実行します。



メモ

スイッチの自動設定については、スイッチの設定ガイドで、スイッチの IP アドレスとデフォルトゲートウェイの割り当てについて説明している章を参照してください。

- 手順 1 初期設定のセットアッププログラムの開始を促すプロンプトで **Enter** または **Return** を押した後、以下のプロンプトで **yes** と入力します。

```
Would you like to terminate autoinstall?[yes]:yes
--- System Configuration Dialog ---
Continue with configuration dialog?[yes/no]:yes
```

```
At any point you may enter a question mark '?' for help.
Use ctrl-c to abort configuration dialog at any prompt.
Default settings are in square brackets '['].
```

```
Basic management setup configures only enough connectivity
for management of the system, extended setup will ask you
to configure each interface on the system
```

```
Would you like to enter basic management setup?[yes/no]:yes
Configuring global parameters:
```

- 手順 2 プロンプトが表示されたらスイッチのホスト名を入力し、**Return** を押します。

ホスト名には最大 20 文字まで使用できます。どのスイッチの場合も、ホスト名の最後の文字に *-n* (n は数字) は使用しないでください。

- 手順 3 有効化のシークレットパスワードを入力し、**Return** を押します。

パスワードには 1 ~ 25 字の英数文字が使用できます。先頭が数字でもかまいません。大文字と小文字が区別され、スペースも使用できますが、先頭のスペースは無視されます。シークレットパスワードは暗号化され、有効化のパスワードはプレーンテキストです。

- 手順 4 有効化のパスワードを入力し、**Return** を押します。

- 手順 5 仮想ターミナル (Telnet) パスワードを入力し、**Return** を押します。

パスワードには 1 ～ 25 字の英数文字が使用できます。大文字と小文字が区別され、スペースも使用できますが、先頭のスペースは無視されます。

手順 6 (オプション) プロンプトに回答して、SNMP の設定を行います。

1. SNMP の設定を後で行う場合は、**Return** を押します (この場合、デフォルトの **no** が適用されます)。デフォルトを受け入れれば、後で CLI を使用して SNMP を設定できます。

```
Configure SNMP Network Management? [no]:
```

2. SNMP の設定をすぐに行う場合は、**yes** と入力します。

```
Configure SNMP Network Management? [no]: yes  
Community string [public]: public
```

手順 7 管理ネットワークに接続するインタフェースのインタフェース名 (物理インタフェースまたは VLAN 名) を入力し、**Return** を押します。

このプロンプトで、インタフェース名として **vlan1** と入力します。

手順 8 インタフェースを設定するには、プロンプトで **Yes** と入力し、スイッチの IP アドレスとサブネットマスクを入力します。**Return** を押します。

以下の IP アドレスとサブネットマスクは一例を示したものです。

```
Configuring interface Vlan1:  
Configure IP on this interface? [yes]:  
IP address for this interface [10.0.0.1]:  
Subnet mask for this interface [255.255.255.0] : 255.255.255.0  
Class A network is 10.0.0.1, 21 subnet bits; mask is /21
```

手順 9 スイッチをクラスタコマンドスイッチとして有効化するかどうかを確認するプロンプトが表示されたら、**no** と入力します。このスイッチはスタンドアロンスイッチになります。

```
Would you like to enable as a cluster command switch? [yes/no]: no
```



メモ Cisco Catalyst Blade Switch 3030 では、クラスタリングはサポートされていません。

これでスイッチの初期設定は完了しました。スイッチには初期設定が表示されます。出力の例を以下に示します。

```
The following configuration command script was created:
hostname switch1
enable secret 5
enable password enable_password
line vty 0 15
password terminal-password
snmp-server community public
!
!
interface Vlan1
no shutdown
ip address 10.0.0.1 255.255.255.0
!
interface GigabitEthernet0/1
!
interface GigabitEthernet0/2

. . . (output truncated)

interface GigabitEthernet0/16
!
end
```

手順 10 以下の選択肢が表示されます。

- [0] Go to the IOS command prompt without saving this config.
- [1] Return back to the setup without saving this config.
- [2] Save this configuration to nvram and exit.

If you want to save the configuration and use it the next time the switch reboots, save it in NVRAM by selecting option 2.

Enter your selection [2]:2

いずれかを選択し、**Return** を押します。

手順 11 サーバーシャーシのシリアルポートまたはスイッチコンソールポートを PC から外します。スイッチの設定と管理の詳細については、「[スイッチの管理](#)」(9-17 ページ) を参照してください。

初期設定ダイアログを再度実行する必要がある場合は、「[スイッチの設定のリセット](#)」(9-24 ページ) を参照してください。

スイッチの管理

セットアップと初期設定の手順を完了したら、本項に説明されている CLI、デバイスマネージャ、またはその他の管理オプションを使用して、詳細な設定を行います。

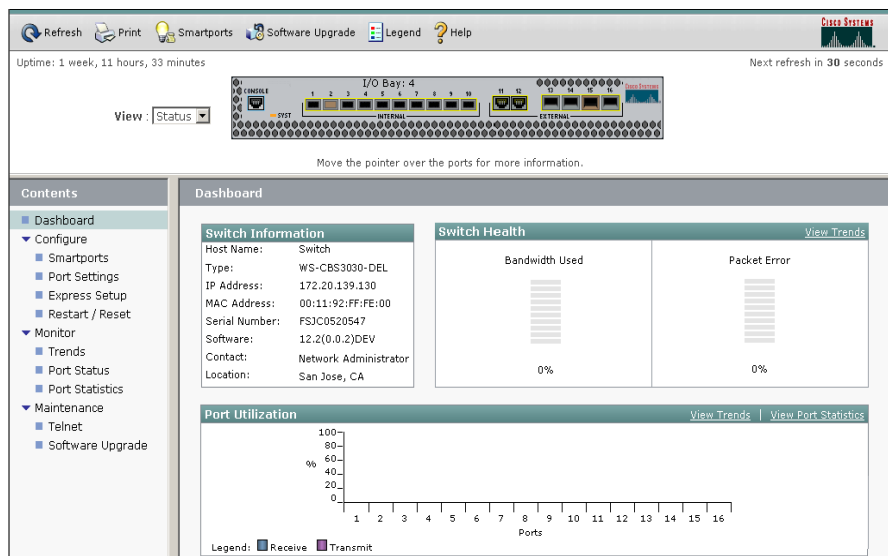
CLI の使い方

ネットワーク内でスイッチのセットアップと取り付けを行ったら、CLI を使用して Cisco IOS コマンドとパラメータを入力できます。PC をスイッチコンソールポートに直接接続するか、またはリモート PC もしくはワークステーションから Telnet セッションを介して、CLI にアクセスします。サーバーシャーシのコンソールシリアルポートを介して CLI にアクセスすることも可能です（[「スイッチモジュールの設定」\(9-9 ページ\)](#) を参照）。

デバイスマネージャの使い方

スイッチを管理する最も簡単な方法は、スイッチのメモリにあるデバイスマネージャを使う方法です。これは、設定と監視を迅速に行うことができる、使いやすいウェブインタフェースです。デバイスマネージャには、ウェブブラウザを使用してネットワーク内のどこからでもアクセスできます。デバイスマネージャのダッシュボードを [図 6](#) に示します。

図 6 デバイスマネージャのダッシュボード



143978

デバイスマネージャにアクセスするには、次の手順を実行します。

1. PC またはワークステーションでウェブブラウザを起動します。
2. ウェブブラウザにスイッチの IP アドレスを入力し、**Enter** を押します。デバイスマネージャのページが表示されます。
3. デバイスマネージャを使用してスイッチの基本的な設定と監視を行います。詳細については、デバイスマネージャのオンラインヘルプを参照してください。

その他の管理オプション

CiscoWorks などの SNMP 管理アプリケーションが使用できます。また、SunNet Manager などのプラットフォームを実行している SNMP 互換ワークステーションから管理することも可能です。

関連マニュアルのリストについては、「[オンラインヘルプへのアクセス](#)」(9-24 ページ) を参照してください。

インストール時の警告メッセージ

本項では、インストール時の基本的な警告メッセージについて説明します。これらの警告メッセージの翻訳は、スイッチに同梱のマニュアル『Regulatory Compliance and Safety Information for the Cisco Gigabit Ethernet Switch Module for the Dell Server Chassis』(Dell サーバシャーシ用の Cisco ギガビットイーサネットスイッチモジュールの法規制の順守と安全に関する注意) に記載されています。



警告

スイッチの加熱を防ぐため、推奨されている最高周囲温度、摂氏 45 度 (華氏 113 度) を超える場所で作業をしないでください。気流の停滞を防ぐため、換気孔から 7.6 cm (3 インチ) 以上の間隔をとってください。メッセージ 17B



警告

クラス 1 レーザー製品です。メッセージ 1008



警告

この装置はアース接続する必要があります。アース導体を破損しないように注意し、アース導体を正しく取り付けないまま装置を稼働させないでください。アース接続が適正であるかどうか分からない場合には、電気検査機関または電気技術者に相談してください。メッセージ 1024

■ インストール時の警告メッセージ



警告

この装置の設置、交換、保守は、訓練を受けた相応の資格のある人が行ってください。メッセージ 1030



警告

この製品を廃棄処分する際は、各国の法律および規制に従って取り扱ってください。メッセージ 1040



警告

装置を設置する建物の外部への接続には、回線保護機構が組み込まれた認定済みのネットワーク終端ユニットを使用して、次のポートを接続する必要があります。10/100/1000 Ethernet。メッセージ 1044



警告

機器の取り付けは地域および国内の電気工事規定に遵守する必要があります。メッセージ 1074

スイッチポートへの接続

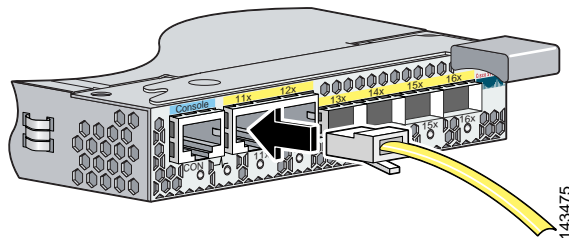
本項では、固定スイッチポートと SFP モジュールポートに接続する方法について説明します。

10/100/1000 ポートへの接続

次の手順を実行します。

- 手順 1 スイッチモジュールの自動 MDIX 機能は、デフォルトで有効に設定されています。自動 MDIX 機能が有効に設定されていると、スイッチは銅線イーサネット接続に必要なケーブルタイプを検出し、それに合わせてインタフェースを設定します (図 7 を参照)。

図 7 10/100/1000 ポートへの接続



もう一方の端に接続されるデバイスのタイプには関係なく、スイッチの銅線 10/100/1000 または 1000BASE-T SFP モジュールポートへの接続には、クロスオーバーケーブルまたはストレートケーブルのいずれかを使用します。

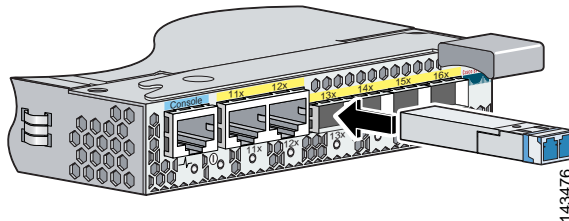
- 手順 2 ケーブルのもう一方の端を、他方のデバイスの RJ-45 コネクタに挿入します。

SFP モジュールの取り付けとポートへの接続

次の手順を実行します。

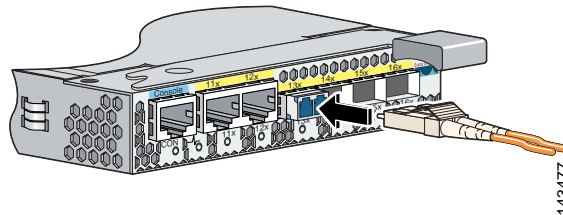
- 手順 1 SFP モジュールの両側を持ってスイッチスロットに挿入します。コネクタが所定の位置にカチッと収まるまで押し込んでください (図 8 を参照)。

図 8 SFP モジュールの取り付け



- 手順 2 SFP モジュールポートに適切なケーブルを挿入します。ケーブルのもう一方の端を、他方のデバイスに挿入します (図 9 を参照)。

図 9 SFP モジュールポートへのケーブルの挿入



サポートされているモジュールの一覧については、Cisco.com でリリースノートを参照してください。SFP モジュールの取り付け、取り外し、および接続の詳細な手順については、SFP モジュールに同梱のマニュアルを参照してください。



注意

SFP モジュールの取り外しと取り付けを行うと、耐用年数が短くなる可能性があります。SFP モジュールの取り外しと取り付けは、どうしても必要な場合以外に行わないでください。

ポートの接続性の確認

スイッチポートに接続すると、スイッチがリンクを確立する間、ポート LED が黄色に点灯します。この処理には約 30 秒かかります。スイッチとターゲットデバイス間でリンクが確立されると、LED は緑色に変わります。LED が点灯しない場合は、ターゲットデバイスの電源がオンになっていないか、ケーブルに問題があるか、またはターゲットデバイスに取り付けられているアダプタに問題がある可能性が考えられます。オンラインアシスタンスについては、「[問題が発生した場合](#)」(9-23 ページ) を参照してください。

問題が発生した場合

問題が発生した場合には、本項および Cisco.com で解決に役立つ情報を得ることができます。本項では、初期設定のトラブルシューティング、スイッチをリセットする方法、オンラインヘルプへのアクセス方法、詳細情報の入手方法について説明します。

初期設定のトラブルシューティング

初期設定ダイアログの実行で問題が発生した場合は、以下の点を確認します。

- 初期設定ダイアログを実行する前に、POST が正常に実行されたことを確認しましたか？
通常、POST エラーは致命的です。スイッチが POST に失敗した場合は、Cisco カスタマーサポートまですぐにお電話ください。
- スイッチと PC を接続した後で、ブラウザに IP アドレスを入力する前に 30 秒待ちましたか？
待たなかった場合は、30 秒待ってからブラウザに **10.0.0.1** を再入力し、**Enter** を押します。
- ユーザー自身をロックアウトしてパスワードを忘れましたか？
パスワードを忘れた場合は、ソフトウェア設定ガイドのトラブルシューティングに関する付録で「[Recovering from a Lost or Forgotten Password](#)」(パスワードを忘れた場合のリカバリ) を参照してください。

スイッチの設定のリセット

本項では、初期設定ダイアログ（システム設定ダイアログ）を再実行することでスイッチの設定をリセットする方法について説明します。スイッチのリセットが必要になる理由として、次の場合が考えられます。

- ネットワークにスイッチを取り付けたが、間違った IP アドレスを割り当てたために接続できない。
- スイッチからすべての設定を消去して新しい IP アドレスを割り当てたい。



注意

スイッチをリセットすると設定内容が削除され、スイッチが再起動します。

スイッチをリセットするには、次の手順を実行します。

- スイッチのプロンプトで **enable** と入力し、**Return または Enter** を押します。
- 特権 EXEC のプロンプト `switch#` で **setup** と入力し、**Return または Enter** を押します。

スイッチに初期設定ダイアログを実行するプロンプトが表示されます。設定情報を再入力してスイッチのセットアップを行うには、「[スイッチモジュールの設定](#)」(9-9 ページ) を参照してください。

オンラインヘルプへのアクセス

最初に、Cisco.com でスイッチのハードウェア取り付けガイドまたはソフトウェア設定ガイドを確認し、トラブルシューティングの項で問題の解決方法を探します。または、Cisco Technical Support and Documentation（テクニカルサポート & マニュアル）のウェブサイトを開いて、既知のハードウェア問題の一覧と各種のトラブルシューティングマニュアルを参照することができます。以下はその数例です。

- 工場出荷時のデフォルトとパスワードリカバリ
- 壊れたソフトウェアまたは失われたソフトウェアからのリカバリ
- スイッチポートの問題

- NIC（ネットワークインタフェースカード）
- トラブルシューティングツール
- フィールドノティスおよびセキュリティアドバイザリー

次の手順を実行します。

1. ブラウザを開き、<http://www.cisco.com/> に移動します。
2. **Technical Support and Documentation**（テクニカルサポート & マニュアル）をクリックします。
3. **Product Support**（製品サポート） > **Switches**（スイッチ） > **LAN and ATM Switches**（LAN と ATM スイッチ） > **Cisco Gigabit Ethernet Switch Module**（Cisco ギガビットイーサネットスイッチモジュール） > **Troubleshooting**（トラブルシューティング）の順にクリックします。
4. 発生している問題に対処するトピックをクリックします。

詳細情報

スイッチの詳細については、Cisco.com で以下のマニュアルを参照してください。

- 『Cisco Catalyst Blade Switch 3030 Hardware Installation Guide』（Cisco Catalyst Blade Switch 3030 ハードウェア設置ガイド）（Cisco.com で入手できますが、注文はできません）。このマニュアルには、ハードウェアと設置の手順について詳述されています。
- 『Regulatory Compliance and Safety Information for the Cisco Catalyst Blade Switch 3030』（Cisco Catalyst Blade Switch 3030 の法規制の順守と安全に関する注意）（注文番号 DOC-7817053=）。このマニュアルには、政府機関の認可情報、コンプライアンス情報、および警告メッセージの翻訳が記載されています。
- 『Release Notes for the Cisco Catalyst Blade Switch 3030, Cisco IOS Release 12.2(25)SEE』（Cisco Catalyst Blade Switch 3030 のリリースノート、Cisco IOS リリース 12.2(25)SEE）（Cisco.com で入手できますが、注文はできません）。
- 『Cisco Catalyst Blade Switch 3030 Software Configuration Guide』（Cisco Catalyst Blade Switch 3030 ソフトウェア設定ガイド）（注文番号 DOC-7817261=）。このマニュアルには、製品の概要、およびスイッチソフトウェアの機能に関する詳しい説明と手順が記載されています。

- 『Cisco Catalyst Blade Switch 3030 Command Reference』（Cisco Catalyst Blade Switch 3030 コマンドリファレンス）（注文番号 DOC-7817262=）。このリファレンスガイドには、スイッチ専用用意されたかまたは修正された Cisco IOS コマンドの詳細にわたる説明が記載されています。
- 『Cisco Catalyst Blade Switch 3030 System Message Guide』（Cisco Catalyst Blade Switch 3030 システムメッセージガイド）（注文番号 DOC-7817263=）。このマニュアルには、スイッチ専用用意されたかまたは修正されたシステムメッセージの説明が記載されています。

マニュアルの入手方法

Cisco のマニュアルと追加資料は、Cisco.com で入手できます。Cisco ではそのほかに、テクニカルサポートをはじめとする技術的な支援を受ける方法をいくつか用意しています。以下の各項では、Cisco Systems から技術情報を入手する方法を説明します。

Cisco.com

Cisco の最新マニュアルが入手できる URL:

<http://www.cisco.com/techsupports>

Cisco のウェブサイト:

<http://www.cisco.com>

Cisco の英語以外のウェブサイト:

http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml

製品マニュアル DVD

Cisco のマニュアルと追加資料は、製品マニュアル DVD パッケージに収録されています。この DVD は製品に同梱されている場合があります。製品マニュアル DVD は定期的にアップデートされており、印刷バージョンよりも新しい場合があります。

製品マニュアル DVD は、ポータブルメディアに収録された技術的な製品マニュアルの総合ライブラリです。この DVD で、複数バージョンのハードウェアとソフトウェアの取り付け/インストール、設定、Cisco 製品のコマンドガイドにアクセスできるほか、技術マニュアルを HTML で表示することができます。この DVD を使用すれば、Cisco のウェブサイトにあるのと同じマニュアルをインターネットに接続せずに開くことができます。一部の製品では、PDF バージョンのマニュアルも用意されています。

製品マニュアル DVD は、単品または定期購読の形で用意されています。Cisco.com の登録ユーザー（Cisco ダイレクトの顧客）は、下記の URL で Cisco Marketplace から製品マニュアル DVD（製品番号 DOC-DOCDVD=）を注文できます。

<http://www.cisco.com/go/marketplace/>

マニュアルの注文

2005 年 6 月 30 日から、Cisco.com の登録ユーザーは Cisco Marketplace（下記サイト）の Product Documentation Store（製品マニュアルストア）で Cisco のマニュアルをご注文いただけます。

<http://www.cisco.com/go/marketplace/>

登録ユーザー以外の方は、米国とカナダからは 1 866 463-3487、その他の地域からは 011 408 519-5055 までお電話いただければ、技術マニュアルのご注文が可能です（営業時間は、太平洋サマータイムで 8:00 a.m. ～ 5:00 p.m. です）。マニュアルのご注文は、電子メール

（tech-doc-store-mkpl@external.cisco.com）または FAX（米国およびカナダからは 1 408 519-5001、その他の地域からは 011 408 519-5001）でも承ります。

マニュアルのフィードバック

Cisco の技術マニュアルを評価してフィードバックをお送りいただけます。フィードバックは、Cisco.com の技術マニュアルに表示されるオンラインフィードバックフォームにご記入ください。

Cisco のマニュアルに関するコメントは、bug-doc@cisco.com までお送りください。

コメントは、マニュアルの表紙の裏側にある（マニュアルによってない場合もあります）レスポンスカードを使用するか、または次の宛先まで郵送していただくことも可能です。

Cisco Systems
Attn:Customer Document Ordering
170 West Tasman Drive
San Jose, CA 95134-9883

ユーザーの皆様のコメントを歓迎いたします。

Cisco 製品のセキュリティに関する概要

Cisco では、次の URL に Security Vulnerability Policy（セキュリティ脆弱性に関する方針）のオンラインポータルを無料で提供しています。

http://www.cisco.com/en/US/products/products_security_vulnerability_policy.html

このサイトから、以下のタスクを実行できます。

- Cisco 製品におけるセキュリティ脆弱性の報告。
- Cisco 製品が関連するセキュリティインシデントに関するお問い合わせ。
- Cisco からセキュリティ情報を得るための登録。

Cisco 製品に関するセキュリティアドバイザリーやセキュリティ上の注意の最新リストは、次の URL で入手できます。

<http://www.cisco.com/go/psirt>

アップデートされるアドバイザリーと注意をリアルタイムで閲覧したい場合は、次の URL から PSIRT RSS（Product Security Incident Response Team Really Simple Syndication）フィードにアクセスしてください。

http://www.cisco.com/en/US/products/products_psirt_rss_feed.html

Cisco 製品に関するセキュリティ問題の報告

Cisco では、安全な製品を提供することに全力を注いでいます。Cisco では製品をリリースする前に社内テストを行っており、脆弱性があればすべて迅速に修正するよう努めております。Cisco 製品に脆弱性があると判断された場合は、次のアドレスで PSIRT までご連絡ください。

- 緊急の場合 — security-alert@cisco.com

緊急とは、システムがアクティブな攻撃を受けている状態か、重大な / 緊急のセキュリティ脆弱性を報告すべき状態です。その他の状態はすべて緊急を要しないと判断されます。

- 緊急を要しない場合 — psirt@cisco.com

緊急の場合は、PSIRT にお電話いただくことも可能です。

- 1 877 228-7302
- 1 408 525-6532



ヒント

Cisco に送信する内容に個人情報など取り扱いに注意すべき情報がある場合は、PGP (Pretty Good Privacy) または同等の製品を使用して暗号化することをお勧めします。PSIRT は、PGP バージョン 2.x ~ 8.x と互換性のある暗号化された情報から使用できます。

無効または期限切れの暗号化キーは決して使用しないでください。PSIRT との通信に使用する正しいパブリックキーは、次の URL で表示される Security Vulnerability Policy (セキュリティ脆弱性に関する方針) ページの Contact Summary (連絡先の概要) にリンクがあります。

http://www.cisco.com/en/US/products/products_security_vulnerability_policy.html

このページ上のリンクに 現在使用中の PGP キー ID が表示されています。

テクニカルサポートの利用法

Cisco では、表彰を受けたテクニカルサポートを 24 時間体制で提供しています。Cisco.com の Cisco Technical Support & Documentation (テクニカルサポート & マニュアル) ウェブサイトには、オンラインサポートリソースが豊富に用意されています。また、Cisco サービス契約に加入しているユーザーは、Cisco TAC (Technical Assistance Center) のエンジニアから電話サポートを受けることができます。有効な Cisco サービス契約に加入しておられないユーザーは、販売店にお問い合わせください。

テクニカルサポート & マニュアル ウェブサイト

Cisco Technical Support & Documentation (テクニカルサポート & マニュアル) ウェブサイトには、Cisco の製品とテクノロジーに関する技術上の問題を解決するトラブルシューティングのためのオンラインマニュアルとオンラインツールが提供されています。ウェブサイトは毎日 24 時間、次の URL で利用できます。

<http://www.cisco.com/techsupport>

Cisco Technical Support & Documentation (テクニカルサポート & マニュアル) ウェブサイトのツールすべてを利用するには、Cisco.com のユーザー ID とパスワードが必要です。有効なサービス契約に加入していて、ユーザー ID またはパスワードをお持ちでない方は、次の URL で登録いただけます。

<http://tools.cisco.com/RPF/register/register.do>



メモ

ウェブまたは電話でサービスリクエストを行う前に、CPI (Cisco Product Identification) ツールを使用して製品のシリアルナンバーを確認してください。CPI ツールは、Cisco Technical Support & Documentation (テクニカルサポート & マニュアル) ウェブサイトを開き、Documentation & Tools (マニュアル & ツール) の下で **Tools & Resources** (ツール & リソース) リンクをクリックすれば利用できます。Alphabetical Index (アルファベット順見出し) から **Cisco Product Identification Tool** (製品識別ツール) を選択するか、または Alerts & RMAs (アラート & RMA) の下で **Cisco Product Identification Tool** リンクをクリックします。CPI ツールには、製品 ID またはモデル名、ツリービュー、または特定の製品については **show** コマンドの出力のコピー & ペーストという 3 種類の検索オプションがあります。検索結果には、お使いの製品のイラストが、シリアルナンバーラベルの貼付位置がハイライトされた状態で表示されます。サービスコールをされる前に、製品のシリアルナンバーラベルを確認し、内容をメモしておきます。

サービスリクエストの提出

オンラインの TAC Service Request Tool（サービスリクエストツール）を使用する方法が、S3 と S4 のサービスリクエストを開く最速の方法です（S3 と S4 のサービスリクエストは、お使いのネットワークへの影響が最小限であるか、または製品情報が必要な場合のリクエストです）。状況を説明すると、TAC Service Request Tool（サービスリクエストツール）によって推奨するソリューションが提供されます。推奨するリソースを使用しても問題が解決しない場合、サービスリクエストは Cisco のエンジニアに割り当てられます。TAC Service Request Tool（サービスリクエストツール）は、次の URL にあります。

<http://www.cisco.com/techsupport/servicerequest>

S1 または S2 のサービスリクエストを利用する場合、またはインターネットが利用できない環境である場合は、電話で Cisco TAC までご連絡ください（S1 または S2 のサービスリクエストは、プロダクションネットワークがダウンしているか、パフォーマンスが極度に低下している場合にご利用いただくものです）。お客様のビジネスを円滑な状態に保つために、S1 と S2 のサービスリクエストには Cisco のエンジニアが直ちに割り当てられます。

電話でサービスリクエストを開くには、以下の番号のいずれかをお使いください。

アジア太平洋：+61 2 8446 7411（オーストラリア：1 800 805 227）

欧州 / 中東 / アフリカ：+32 2 704 55 55

米国：1 800 553-2447

Cisco TAC 連絡先の詳細なリストは、次の URL をご覧ください。

<http://www.cisco.com/techsupport/contacts>

サービスリクエストの重大度の定義

すべてのサービスリクエストが必ず標準フォーマットで報告されるように、Cisco では重大度の定義を定めました。

重大度 1 (S1) — ネットワークが「ダウン」しているか、ビジネスに重大な影響がある。Cisco はお客様と協力しながら、必要なリソースをすべて注いで 24 時間体制で問題解決にあたります。

重大度 2 (S2) — 既存のネットワークの動作が極度に低下しているか、Cisco 製品のパフォーマンスが不十分なために、お客様のビジネスの重要な側面にマイナスの影響が及んでいる。Cisco はお客様と協力しながら、通常の営業時間中に常勤スタッフを投入して問題解決にあたります。

重大度 3 (S3) — ネットワークの動作パフォーマンスが損なわれているものの、ほとんどのビジネスは機能している。Cisco はお客様と協力しながら、通常の営業時間中にスタッフを投入してサービスを満足のいくレベルに回復します。

重大度 4 (S4) — Cisco 製品の機能、設置、または設定について情報または支援を要請された場合。お客様のビジネスへの影響は皆無であるか、またはまったく影響がない。

その他の刊行物や情報を入手する方法

Cisco の製品、テクノロジー、およびネットワークソリューションに関する情報は、オンラインや印刷版でさまざまな方面から入手できます。

- Cisco Marketplace では、Cisco のさまざまな書籍、リファレンスガイド、マニュアル、ロゴ商品が提供されています。弊社の店舗、Cisco Marketplace をご訪問ください。

<http://www.cisco.com/go/marketplace/>

- Cisco Press では、ネットワークキング、トレーニング、認可に関する一般的なタイトルを幅広く取り扱っています。初心者の方にも専門知識をお持ちのユーザーにもお役立ていただける出版物を取り揃えています。Cisco Press で現在扱われているタイトルその他の情報については、Cisco Press の URL でご確認ください。

<http://www.ciscopress.com>

- *Packet* 誌は、インターネットとネットワーキングへの投資を最大限に活かすための Cisco Systems のテクニカルユーザー向けの雑誌です。Packet 誌には、四半期ごとに最新の業界トレンド、技術革新、Cisco の製品とソリューション、ネットワーク導入とトラブルシューティングのヒント、構成例、顧客のケーススタディ、認可とトレーニングに関する情報、多数の詳しいオンラインリソースへのリンクが掲載されます。Packet 誌へは次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/packet>

- *iQ Magazine* は Cisco Systems が刊行している季刊誌で、成長中の企業がテクノロジーを利用して増収、ビジネスの合理化、業務の拡大を実現する方法を習得するお手伝いをすることを目的としています。この季刊誌では、読者がテクノロジー投資に関して正しい判断を下すことができるように、実際のケーススタディやビジネス戦略を用いて、そうした企業が直面する課題とその解決を支援するテクノロジーを明らかにします。iQ Magazine へは、次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/go/iqmagazine>

または、デジタル版は次の URL をご覧ください。

<http://ciscoiq.texterity.com/ciscoiq/sample/>

- *Internet Protocol Journal* は、設計、開発、公的 / 民間部門のインターネットとイントラネットの運営に携わるエンジニアリングの専門家を対象に Cisco Systems が刊行している季刊誌です。Internet Protocol Journal へは、次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/ipj>

- Cisco Systems が提供するネットワーク製品、およびカスタマーサポートサービスは、次の URL で入手 / 利用できます。

<http://www.cisco.com/en/US/products/index.html>

- Networking Professionals Connection は、ネットワークの専門家が Cisco のエキスパートやその他のネットワークの専門家との間でネットワーク製品やテクノロジーに関する質問、提案、情報を共有するための対話型のウェブサイトです。次の URL でディスカッションに参加いただけます。

<http://www.cisco.com/discuss/networking>

- Cisco では、ワールドクラスのネットワーキングトレーニングを提供しています。現在提供されているトレーニングについては、次の URL でご確認ください。

<http://www.cisco.com/en/US/learning/index.html>

ハードウェアの保証期間

本項では、スイッチの保証期間について説明します。

Dell ハードウェアの保証期間



メモ

保証期間に関する注意事項：下記の限定保証には、Cisco Catalyst Blade Switch 3030 に対する Cisco の保証範囲が反映されています。本製品をデルから購入された場合は、下記の限定保証期間とは異なる追加保証をデルが提供していることがあります。該当する保証情報については、デルブランドのサービス製品に同梱の『製品情報ガイド』を参照してください。この追加保証は、Cisco ではなくデルが提供するものです。この保証に関する質問や請求については、デルの認定販売店にお問い合わせください。Cisco は、下記に明示するものを除き、いかなる保証も致しません。

Cisco 90 日間限定ハードウェア保証期間

保証期間中にお使いいただけるお客様のハードウェア保証および各種サービスに適用される特別な条件があります。お客様の正式な保証の内容は、Cisco ソフトウェアに適用される保証とライセンス契約を含め、Cisco.com で入手できます。Cisco.com にアクセスして *Cisco Information Packet* (Cisco 情報パケット) と保証 / ライセンス契約をダウンロードするには、次の手順に従ってください。

1. ブラウザを起動し、次の URL を開きます。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/es_inpkc/cetrans.htm

Warranties and License Agreements (保証およびライセンス契約) のページが表示されます。

2. *Cisco Information Packet* (Cisco 情報パケット) をお読みいただくには、次の手順に従ってください。

- a. **Information Packet Number** (情報パケット番号) フィールドをクリックし、パーツナンバー 78-5235-03A0 がハイライト表示されていることを確認します。
- b. 参照する文書の言語を選択します。
- c. **Go** (続行) をクリックします。

Information Packet (情報パケット) の Cisco Limited Warranty and Software License (Cisco 限定保証およびソフトウェアライセンス) ページが表示されます。

- d. 文書をオンラインで参照するか、または **PDF** のアイコンをクリックしてダウンロードし、PDF (Adobe Portable Document Format) で印刷します。



メモ PDF ファイルの表示と印刷を行うには、Adobe Acrobat Reader が必要です。Acrobat Reader は Adobe のウェブサイトからダウンロードできます。

<http://www.adobe.com>

3. お使いの製品の保証に関する情報の翻訳を参照するには、次の手順に従ってください。
 - a. Warranty Document Number（保証文書番号）フィールドに次のパーツナンバーを入力します。
78-5236-01C0
 - b. 参照する文書の言語を選択します。
 - c. **Go**（続行）をクリックします。
Cisco の保証ページが表示されます。
 - d. 文書をオンラインで参照するか、または **PDF** のアイコンをクリックしてダウンロードし、PDF（Adobe Portable Document Format）で印刷します。

Cisco のサービス / サポートウェブサイトを開いて問い合わせを行うことも可能です。

http://www.cisco.com/public/Support_root.shtml

ハードウェアの保証期間

90 日。

ハードウェアの交換、修理、または返金の規定

Cisco またはそのサービスセンターは、返品承認（RMA）リクエストの到着後 10 営業日以内に交換パーツを出荷できるよう、商業的に相応の努力を払います。実際の納期は、お住まいの地域によって異なる場合があります。

Cisco は、保証に基づく唯一の法的救済として、購入代金の払い戻しを行う権利を留保します。

RMA ナンバーを受け取る方法

購入先の会社にご連絡ください。Cisco から直接購入された場合は、Cisco 販売 & サービス代理店にご連絡ください。

下記の情報を記録し、後で参照できるように保管してください。

販売会社	
販売会社の電話番号	
製品のモデル番号	
製品のシリアルナンバー	
メンテナンス契約番号	